

第4回 利水部会(2003.9.2開催)結果報告

2003.9.4 庶務発信

開催日時：2003年9月2日(火) 9:30~12:30

場所：ぱ・る・るプラザ 6階 会議室C

参加者数：委員9名、河川管理者12名、一般傍聴者93名

1 決定事項

- ・ 本日の議論を踏まえ、部会長が利水部会とりまとめ素案の修正を行い、9/5の第24回委員会にて報告する。
- ・ 9/5~9/20の間に利水部会検討会を開催する。日程は後日調整する。
- ・ 福岡市で節水に関する条例が施行されたことに伴い、福岡における節水、水需要抑制の背景や考え方等を委員と庶務でヒアリングに行く。担当者的人選は部会長に一任する。

2 審議の概要

委員会、他部会の開催状況等の報告

資料1「委員会および各部会の状況報告(提言とりまとめ以降)」を用いて、各部会の状況について説明が行われた。

部会意見とりまとめに向けた意見交換

資料2-1「利水部会とりまとめ案」をもとに部会長より説明が行われ、その後、意見交換が行われた。主な意見は、次のとおり。

- ・ 10年ほど前、米国で水需要管理のような考え方が提唱されたが、当時その考え方はすぐには理解されなかった。理念転換を広く一般に理解してもらうことが重要である。
- ・ とりまとめ案に使われている表現を、提言のスタンスにあわせて整合性をとる必要がある。とりまとめ案は、全体的に表現が弱い。
- ・ 河川管理者の法的な権限の枠組みを超える部分については、流域委員会が良い川づくりを行うための応援団となって、“こんなことを実現してほしい”という提案を行うのはどうか。
- ・ ダムに参画しない利水業者の水需要の精査・確認は、水利権更新時に行うことになっているが、これではスパンが長すぎる。2年くらいで定期的に行うべきである。

寺川委員からの説明と質疑応答

資料2-3「『淀川水系における水需要(都市用水)』グラフの問題点」をもとに、寺川委員より、「水マネジメント懇談会」の資料に関する意見の説明が行われ、河川管理者との質疑が行われた。主な質疑は次のとおり。

- ・ 淀川水系のダムの実力低下を示すグラフに、滋賀県の水需要を含めるのはおかしいのではないかと。滋賀県は、主に琵琶湖からの直接取水と流入河川からの取水で水を賄っている。「水マネジメント懇談会」がこうした資料に基づいているとすれば、判断の誤りにつながる。ミスリードがあれば改善していく。ただし、あのグラフ一枚でダムの必要性の全てが判断されているわけではない。各々の利水者の現状に合わせて議論している。(河川管理者)

一般傍聴者からの意見聴取

一般傍聴者2名から、「この意見書の内容はありがたい。このとりまとめ案の内容に加えて、

『これ以上の水供給はできません』というくらいの方針転換にしてもらいたい」、「流域委員会に利水（下水処理水と農水の水量、用途間転用等）に関する意見を提出した。本配布された参考資料1に掲載されているので、是非ごらんいただきたい」等の発言があった。

その他

- ・寺田委員より、「福岡で節水に関する条例が施行された。利水部会として背景をつかんでおく必要があり、ヒアリングに行くべきだ」との提案がなされ、上記「1.決定事項」の通り決定がなされた。
- ・スケジュール等について話し合わせ、上記「1.決定事項」の通り決定がなされた。

以上

このお知らせは委員の皆様にご会議の結果を迅速にお知らせするため、庶務から発信させて頂くものです。審議の主な内容については「結果概要」、詳細については「議事録」を参照下さい。

意見書とりまとめ状況報告	2003.9.17 庶務発信
<p>庶務より；</p> <p>意見書とりまとめの運営会議作業部会のコアメンバー打合せが9/10に行われました。打合せでの決定事項をお知らせします。</p> <p>(出席委員：今本リーダー、荻野委員、川上委員、三田村委員)</p>	

意見書とりまとめの運営会議作業部会コアメンバー打合せ(9/10)決定事項

1 意見書の構成、内容について

- ・「本編」に「説明資料」を添付する構成とする。
- ・「本編」は、主に総合的な意見(3～5頁。主要な課題を記述する。)と整備内容シートへの意見(表形式を想定 今後検討)で構成する。「どうしても反対」という少数意見がある場合には、提言と同様に末尾に反対意見として掲載する。
- ・「説明資料」は、各部会のとりまとめを束ねる形とする(構成等については今後検討)。
- ・「本編」はできるだけコンパクトにし、背景や考え方は「説明資料」に記されている、と考える。
- ・基礎原案について、修正・批判の意見だけでなく、これまでの河川整備計画との違いや評価できる部分についても記述する。

2 作業部会メンバー

分野別の担当とする。下線はコアメンバー。コアメンバーが執筆し、その他メンバーは意見を述べる役割。担当分野以外についてもとりまとめへの参加が望まれる。

河川環境：中村委、宗宮委、田中(哲)委、西野委

治水：今本委、(江頭委)、(畑委)

利水：荻野委、池淵委

利用：川上委、榎屋委、松本委

住民参加：三田村委、寺川委、山村委

庶務注1：西野委員、山村委員は、9/5委員会以降にメンバー就任を承諾頂きました(9/5委員会前に作業部会メンバー候補となっていました。9/5時点で就任依頼中だったため、委員会資料にはお名前が掲載されていません)。

庶務注2：江頭委員は9/5委員会にて、畑委員は本日の打ち合わせにて作業部会メンバーとして就任依頼することが決まりました。今後、庶務より依頼致します(江頭委員は現在海外出張中のため、確認は9/18以降となる予定)。

3 今後のスケジュール

<会議と出席対象委員>

作業部会：作業部会メンバーが参加。他の委員の傍聴も有りとする。

運営会議：意見書の議論には、作業部会メンバーも参加。他の委員の傍聴も有りとする。

<日程（既にお知らせしている日程も含む）>

～ 9 / 18

河川管理者から基礎原案に対応する整備内容シートが提出されたら即、委員全員にシート内容に対する意見募集を行う。

9 / 18（木） 作業部会

時間：17：00（環境利用部会終了後）～ * 議論が夜遅くまで及ぶ可能性があるため、会場周辺のホテルに宿泊を予定。

場所：MRI 会議室（大阪駅より徒歩約7分）

9 / 27（土） 運営会議

時間：10：00～15：00（状況によっては終了後に作業部会開催。20時頃終了予定）

場所：ぱるるプラザ京都

（9 / 30 委員会）

10 / 15（水）～10 / 16（木） 作業部会

時間：17：00（15日）～午前（16日）* 15日は会場周辺のホテルに宿泊を予定。

場所：MRI 会議室

10 / 17（金） 運営会議

時間：10：00～17：00

場所：京都駅周辺を予定

10 / 27（月） 作業部会

時間：10：00～

場所：MRI 会議室

（10 / 29 委員会）

以上

< 9/11 治水部会検討会に意見書作業部会の今本リーダーより提出された資料 >

淀川水系河川整備計画基礎原案に対する意見書

意見とりまとめ(骨子)

- 1 はじめに
- 2 総合的意見
- 3 さらに検討すべき主な論点
- 4 おわりに

具体的な整備内容シートについての意見

全委員にシートごとの意見を募集し、作業部会で委員会としての意見にまとめる。少数意見の取扱いについては別途検討する。

部会ごとの意見とりまとめ

地域別部会およびテーマ別部会の意見とりまとめについては地域別部会とテーマ別部会ごとにできるだけ構成を整えたものとする。地域別部会は「具体的な整備内容」、テーマ別部会は「現状の課題」「河川整備の基本的な考え方」「河川整備の方針」に重点をおいて意見とりまとめを行う。とりまとめの作業はそれぞれの部会が担当し、作業部会が目を通し、問題があればそれぞれの部会に修正をお願いする。

意見書の最終案を運営委員会がチェックする。